

増やさないことも愛情です 環境保全課 ☎ 65-1512 FAX 65-1255

飼っているペットや野良猫・犬を人為的に増やし過ぎてしまうと、飼いきれなくなったり、衛生面などで地域住民に迷惑がかかったりします。増やす予定がない場合は避妊去勢手術を検討しましょう。

■無責任なエサやりはやめましょう

野良猫にエサをあげると、地域に定着し繁殖します。増えすぎてしまった野良猫による、フン害などに困っている人が増えています。繁殖防止のために避妊去勢手術を施したり、野良猫のフンの処理をしたりするなど、周辺環境および近隣の住民に対するケアが難しい場合、エサやりを中止することも一つの選択肢です。

■不妊去勢手術を検討しましょう

猫は初春から晩秋にかけて繁殖期を迎えます。また、年に2～3回の出産が可能なほど妊娠率・繁殖力の高い動物です。子猫は生後4～12カ月で繁殖が可能になり、オスとメスがいれば短期間で何十匹も増えることがあります。繁殖により適正な飼育ができなくなるののないように、不妊去勢手術を検討しましょう。繁殖だけでなく、病気の予防やストレスの軽減、繁殖のためのけんかや脱走も予防できます。

■野良猫（地域猫）対策支援事業のご案内

（公社）愛媛県獣医師会が無償で野良猫（地域猫）の避妊去勢事業を行っています。例年、環境保全課が窓口となり、申請用紙の配布、申請の取りまとめを行っています。ただし、獣医師会で助成ができる頭数には限りがあり、申請したすべての野良猫（地域猫）が助成対象になるわけではありません。あらかじめご了承ください。

対象 生後6カ月以上のメスの野良猫

実施頭数 県下で約140頭程度

受付期間 10月1日(木)～30日(金)

手術開始時期 11月中旬から

手術済みの野良猫は耳がV字カットになっていて、子猫を増やすことがないニャー!!



エコアクションプランにはま3

市役所の取り組み結果を報告します

環境保全課 ☎ 65・1512 FAX 65・1255

■エコアクションプランにはま3とは？

市では、市の事務事業により排出される温室効果ガスを抑制するための実行計画として、平成26年に「エコアクションプラン」にはま3（新居浜市地球温暖化対策率先行動計画）を策定しました。

本計画では、平成25年度を基準年度として、令和元年度までに温室効果ガス総排出量を6%削減することを目標としており、エネルギー使用量の削減だけでなく、水道使用量の削減などの環境負荷低減にも取り組むこととしています。

■令和元年度の取り組み結果

令和元年度の温室効果ガス総排出量は、基準年度から比較して、5.3%の削減となり、目標の6%削減を達成できませんでした。また、電気などのエネルギー使用量や水道使用量は削減できましたが、コピー用紙や封筒の購入量は増加しました。

■計画を見直します

エコアクションプランにはま3については、これまでの取り組み結果を踏まえ、今年度、計画の見直しを行います。温室効果ガスの排出抑制に向けた取り組みを強化するとともに、環境負荷の低減に積極的に取り組んでいきます。

表 エコアクションプランにはま3の取り組み結果

項目	平成25年度 (基準年)	令和元年度 実績	基準年度比
温室効果ガス総排出量 (t-CO2*)	40,716	38,550	5.3%減
電気使用量 (kWh)	33,921,551	31,207,451	8.0%減
水道使用量 (m)	533,495	405,577	24.0%減
コピー用紙購入量 (枚)	20,540,890	25,186,475	22.6%増
封筒購入量 (枚)	225,156	292,350	29.8%増

※ t-CO2：二酸化炭素に換算した温室効果ガス量

